

土を知る

見えない、触れないところにこそ目を向けてください。大事な真実を知ってください。

シリーズ ● 2 日本の地形の種類の種類の特徴

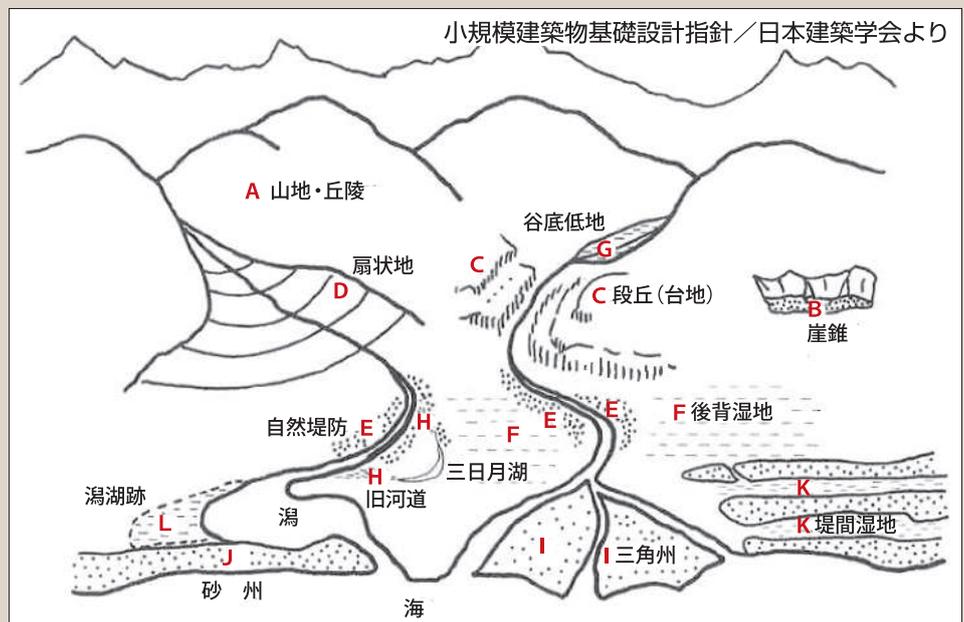
「土」— その特徴、成り立ち、『地盤の問題点』 その1

前回は、地形の種類を書きましたが、今回から、それぞれの『特徴』『成り立ち』『地盤としての問題点』を取り上げていきます。まず、A 山地・丘陵、山地は標高約 500m以上の険しい山間部で、それより低く、なだらかな地形を丘陵としています。地盤としては、比較的安定しており、良好です。但し、傾斜地であることから、**宅地開発による造成地が多く、切土・盛土が混在しており、それに起因する不同沈下の懸念が高い地盤です。**

特に、**擁壁と盛土による宅地**の場合は、元地盤と盛土との支持力が大きく違う場合は、**地盤補強工事が必要となる場合があります。**

また、造成時の擁壁の安全を確認出来る資料が無い場合は、**擁壁に建物荷重が及ばないように基礎の根入れ深度を深くする等、計画建物に影響が出る場合もあります。**

擁壁の影響による不具合は、地盤保証でも免責となる場合が多いため、**十分な注意が必要**です。



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

世界変えるための17の目標



地球と未来の子どもたちのためにアースレイズはSDG'sを実践します。

アースレイズがSDG's
を実践する理由

次の世代が安心して住める世界へ

地盤解析で未来を紡ぐ

「地盤解析で未来を紡ぐ」は設立時に掲げた私たちの企業理念で、「人々が安心して暮らせる住環境とかけがえのない地球の自然環境、この2つの環境をサステナブルで健全にものにする」とを目的としています。

SDG'sは2015年の国連サミットで採択されたもので、2016年から2030年の15年間で達成するために掲げた目標ですが、アースレイズではそれ以前からこのSDG'sの目的のいくつかを独自に実践していました。ですから世界中でこのSDG'sへのチャレンジが始まったことを心から歓迎したいと思います。

そして、これからも真摯にSDG'sの実践に取り組んでまいります。



アースレイズの古澤社長と筆者は富山駅から、アースレイズ北陸・前田社長の案内で、立山の木の香 株式会社前川建築様（以下前川建築様）へ。お話は前川社長と茶木専務のお二人に伺いました。



▲木の香 株式会社前川建築
前川社長様(右) 茶木専務様(左)

◎企業理念と想い

前川建築様の企業理念は「私たちは木の家を造るプロとしてより豊かな未来の創造を目指します」です。“より豊かな未来ってどういうことですか？”と伺うと、“街づくりをも含めて、富山の自然と暮らす心地よい景観・住環境を造って行くこと”と。この理念を実践するために、耐震・断熱といった住宅性能をしっかり担保することを前提に、様々な取組みをされています。その取組みとは、良い家を建てるだけに留まる事なく“人々の暮らしがどうしたら豊かになるか？”という人間の営みそのものを主として考え、実践しておられるのです。これはくどくどと解説するより

“絵”を見て頂いた方がご理解しやすいと思い、下のイラストで表現してみました。心地よい風景を感じてください！

◎アースレイズとの取組み

アースレイズとの取組みについて伺いました。“古澤社長のお話をセミナーでお聴きし、今までしなくていい地盤改良をしていたのだな、と思いました。地球にも施主様にもよくないことだし。古澤社長や前田社長の考え方に共感しています。”と前川社長。“アースレイズと一緒にやり出して、改良工事が格段に減りました”とも。

◎取材を終えて

特に感じたコトは、前川建築様はその仕事に楽しく取り組んでいる姿勢が素直に伝わってきたコト。事務所スペースも、モデルハウスも、自然の中の暮らしが体感できる民泊施設の蔵も、全てが築130年以上の古民家をセンス良くリノベーションしたものだ。それはとてもステキな空間であり「人間本来の居場所」を感じました。庭の木々や山々が夕日に染まる縁側で、冷たいビールが飲みたくなった筆者でした。

より豊かな未来のために・・・

街づくりも含めて、富山の自然と暮らす心地よい景観・住宅環境をつくっています



木の香りと暮らす住み飽きない
デザインのやわらかな家

新築住宅

おだやかな時の流れを味わう

古民家民泊

暮らしが緑に染まりゆく

グリーン&エクステリアニワノン

中古住宅が楽しい！おもしろい！

リノベーションと不動産

生涯寄り添う家具づくり

大工とつくるわざわ座

ものづくりの楽しさを知って欲しい！

こども工務店



今回の工務店訪問記・木の香 株式会社前川建築様へ古澤社長と筆者をエスコートしてくれたのが、アースレイズ北陸／株式会社ミガキ(以下ミガキ)の前田社長です。

■企業理念

ミガキの企業理念は「住む人の思いを磨き、創造する。造る人の技術を磨き、共栄する」です。“磨く”という向上するイメージの動詞がそのまま社名になっていて、なかなか面白いと感じました。前田社長にいろいろとお話を伺う中で、このエンドユーザとつくり手の両方を視野に入れておられる姿勢がしっかりと伝わってきました。

■理念を確立するまでの想い

前田社長のお父様は大工。家が建てられていく過程が楽しくて“自分も家づくりがしたい”と子どもの頃から考えていたそうです。その想いは大人になっても色褪せることなく、新卒後は家づくりに必要な専門工事店（プレカット、防水工事、断熱工事など）に入社し、お客様である地域の工務店さんと一緒に現場経験を積まれます。その後、地域の工務店に転職し、ここでは現場監督や一級建築士としての設計など、なんでも一通りのことを経験されました。

これらの経験から“もっと施主様にできることがあるのではないかな？もっと工務店をよりよく改善することができるのではないかな？”と考えるようになり、先述の企業理念を胸に、施主様にも工務店にとっても役立つ存在になるため、このミガキを設立したそうです。

個人事業として2007年設立。2010年には株式会社に。

「ミガキは住宅会社の下請けです。主役は住宅会社で、持たれている経験や強みをより高い価値になるよう、ミガキをかけるのが私の仕事です」と。また「下請けの仕事はなかなか施主様の顔が見えてきません。だからこそ、常に施主様の夢とか想いを慮り、それを『思いを磨く』と理念にうたいました」とも。

スタッフ紹介 ● アースレイズ北陸 (株式会社ミガキ) | 小森 輝和

地盤調査のお仕事を始めて、今年の10月で4年目を迎えます。この仕事を始める前まで、地盤調査や建築工事に関する経験はありませんでした。でも、「まちがった経験・知識を持った経験者よりも、これから正しいことを素直に学べる人材が大事」というアースレイズの方針を最初に聞いていたので、これまでやってこられたと思っています。

同じお仕事をしている他業者さんたちは、ほとんどが機械操作だけの調査をしていますが、わたしは自分の手で穴を掘ったり、土を触って感触を確かめたりして、自分のカラダ全体を使って地耐力を調べています。ですから、他業者さんの機械任せ調査で地盤改良判定がでた場合に、再度自分の手で詳細な調査をし、その結果、「改良不要」の判定が出た時には、このお仕事にとてもやりがいを感じます。

まさに理念を実践するその姿勢に迷いや曇りは一切ないようです。

■アースレイズのテクニカルメンバーになった理由

ミガキは瑕疵保険の取次店でもあるのですが、利用する際は地盤調査の報告書を添付する必要があるのですが、報告書の地盤調査の2件に1件は地盤改良の判定になっているのです。“これはおかしい”と思いました。父の建てた家を永年見てきましたが、地盤改良を必要とするようなことはほぼなかったのです。

そんな思いを、瑕疵保険を取り扱っているハウスジーンの方には言ったら、古澤社長をご紹介して頂き、個別にお話しする機会を頂きました。

お話はとても面白かったですし、自分が指摘した疑問点は間違いではなかったことを確認できました。そして、この話しを多くの工務店の皆さんに聴いて欲しくて、富山でセミナーを行ったのです。当日は30社以上の工務店さんが参加され、まっとうな調査と解析をする必要があることに、多くの方に賛同して頂きました。

そして、アースレイズが行っている調査と解析のやり方を富山でもできないか？というリクエストも頂きました。それでミガキも「アースレイズ北陸」としてテクニカルメンバーになったのです。



▲代表取締役 前田哲宏

取材を通して前田社長の実直さ、謙虚さ、素直さ、真摯な姿勢を強く感じました。そんな前田社長から印象的な言葉がありました。「僕は建築の仕事が好き、木の家を建てるのが好きなのです。今の仕事は天職だと思っています。」「そして、家を建てる大工さんや職人さんを尊敬しているのです。」と。

これを聴いてちょっと胸が熱くなった筆者でした。



